

令和5年度 児童・保護者による「学校をよくするためのアンケート」の結果について

香取市立佐原小学校 学校評価アンケート

児 童 652名回答 回答率 94.4%

保護者 598名回答 回答率 86.5%

教職員 43名回答 回答率 100%

【実施期間と実施方法について】

令和6年1月12日（金）から22日（月）の期間で「学校をよくするためのアンケート」（以下、学校評価）を実施しました。児童については、2～6年生は学校で各自のタブレットからフォームズに入力する方法で、1年生は保護者と一緒にスマートフォンやタブレットなどからフォームズに入力する方法で回答を集めました。保護者については、スマートフォンやタブレットなどからフォームズに入力する方法によりPTA会員数でご回答いただきました。各学年のご意見をいただくため、兄弟姉妹が在籍している場合には、複数回の実施を依頼いたしました。

【アンケート結果について】

保護者アンケートの全17項目中、12項目で「よくできている」「できている」という肯定的回答が80%～90%を占めています。学校の教育目標に対して保護者の願う子ども像と合っているとの肯定的回答が97%、学校と家庭との連携が図られているとの肯定的回答が93%であり、本校の教育活動に対して保護者の皆様にご理解とご協力をいただいていることに感謝を申し上げます。

また、児童アンケートでは、学校が楽しいという肯定的な回答が94%、先生はがんばったことやよさをほめてくれるという肯定的回答が96%であり、保護者アンケートでは、子どもが楽しく登校していると捉えている肯定的回答が94%、学校や先生は子どものよさや努力を見ているとの肯定的回答が93%であることを励みに、今後も教職員一丸となって「希望の登校、満足の下校」「佐原笑楽校」の実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

低い傾向にあったものとして、家庭での読書への取組があります。この結果は、児童アンケートでも同様の傾向が見られます。一方、教職員アンケートでは学校で意欲的に読書に取り組んでいると捉えている回答が84%でした。学校では朝の読書やボランティアによる読み聞かせ、隙間時間に本を手に取りやすいような環境づくりなど、読書に取り組む時間と環境を設定しています。家庭にはテレビやゲーム、タブレットなど、読書以外に子どもたちが興味をもっているものが多くありますが、引き続き子どもたちに読書のおもしろさや有用性を感じてもらえるように取組を工夫していくと同時に、家庭への啓発や家庭とともにできる取組を探っていききたいと考えています。

また、家庭学習や家庭での手伝いなどについてはやや低い傾向がみられました。学校生活では、話し合い活動や体験活動など、コロナ禍で制限されていた学習活動が再開できるようになり、子どもたちは意欲的に学習に励んでいます。また、各学級の係活動や委員会活動などでは人のために進んで働いている姿が多く見られます。学校生活で身に付けた学習方法や生活態度を家庭でも実践できるように子どもたちに働き掛けてまいります。

【アンケート記述欄について】

アンケート記述欄には、温かい励ましの声をたくさんいただきました。ありがとうございました。また、改善に向けた建設的な意見もいただきました。これらにつきましては、貴重な意見として今後の学校運営に役立てていきます。ご協力ありがとうございました。

※掲載できるものについて、以下にお示ししました。

令和5年度 保護者による「学校をよくするためのアンケート」記述欄の内容

※同様の内容については一つにまとめていただきました。

【学習について】

- いろんな性格の児童がいて大変だと思いますが、理解度に差が出てしまっただけでは困るので、補助の先生を増やすなどの対応を検討していただければと思います。
 - 1年生には担任の他に、香取市教育委員会から配置してもらった支援員や、専科職員（主に年度初めの朝の支度や朝の会）、少人数担当職員（算数の授業）が教室に入り個別支援を行っています。支援員については香取市教育委員会の限りある予算の中で配置いただいております。支援員の増員について、毎年、香取市教育委員会に要望しています。
- 1年生チャレンジがあると聞きました。内容を知らないのですが、親にも明確な目標を共有していただけると家でも協力できると思います。学校側ももっと学力の底上げを考えてもらいたいです。
 - 「1年生チャレンジ」は、1年生で習得してほしい生活面（黙働清掃、挨拶等）や学習面（10の作り方、数の数え方、日付の言い方等）での事柄を教室入口に掲示し、達成できたら各自のシートにシールを貼っていくという取組です。
学力の底上げに家庭の協力を得られると非常にありがたいです。そのためにも学校での取り組みや学習内容の周知に努めていきます。
- 子供が先生に教わった事をあまり理解できていないと感じます。
 - 朝のチャレンジタイムに漢字や計算の基礎・基本の定着を図っています。授業では身に付けた知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を高められるようにしています。いずれにしても学びに向かう力が必要になります。算数や特別支援教育について講師を招いて校内研修を行ったり、今年度新たに若手教員がベテランや中堅教員の授業を見てポイントを教わる研修を企画・実施したりと、実践的な授業力が身に付くよう校内での研修を工夫して実施しています。今後も子どもたちにとって分かりやすく力がつく授業ができるよう研修を実施していきます。
- 週末の漢字テストの問題が後で分かるようにしてほしいです。空欄があるテスト用紙を持ち帰ってきているので何が分からなかったか本人も覚えていません。
 - お子さんの漢字テストを確認くださり、ありがとうございます。毎週、問題を黒板に書き空欄の解答用紙に解答するため、分からない問題が空欄になってしまったようです。分からないところは問題を書いておくよう声を掛けていますが、個別に支援が必要でしたら担任に連絡帳等でご相談ください。
- けてぶれ（※）の宿題では、漢字、計算以外の苦手をカバーできません。宿題がけてぶれの場合、漢字や計算しか出来ないのでは、何をしたいのか、わからなく、困ります。親が気づいて、伝えればプリントをくれましたが、伝えないと、やってきた宿題にAやBの評価があるだけで、他のやり方を教えてくれることもないので、何が足りていないのか、本人でもわかっていないような授業でできなかった箇所や理科、社会を、プリントなどで宿題にしてもらえた方が伸びると思います。中学にあがる前に、いろいろな勉強をするやり方を考えないと、身に付かない気がして、親の努力不足だとはわかってはいますが、先生からのアドバイス待ちでは、けてぶれは、担任の気づき方次第で差があるように思えて、不安です。（※）けてぶれ学習法…「計画→テスト→分析→練習」のサイクルで勉強する方法
 - 宿題や家庭学習については発達段階に応じて各学年で方法を工夫しています。いただいたご意見を参考にして、個に応じた指導、効果的な学習方法について実態を踏まえながら探っていきます。

【タブレット活用について】

- タブレットを持ち帰った金・土・日曜日の宿題をタブレット学習にすれば、タブレット学習の時間が増えると思います。
→ 今年度12月に千葉県が実施した「千葉県学びのデザインシート」のようにタブレットを使って解答する形式(CBT形式)のテストが増えてくことが予想されます。また、今後は全国学力・学習状況調査(6年生対象)でもタブレットを使ってアンケートに回答する方法が取り入れられるとのこと。それらに対応できるよう、タイピングや画面の操作などの技能が身に付くように、タブレットを使った宿題や課題を検討しています。
- 週末持ち帰るタブレットは、持ち帰るか持ち帰らないかを本人に決めさせることはできないでしょうか。金曜日の持ち帰り荷物が多い、月曜日持つて行く荷物が多い、使用しないタブレットを週末家に持ち帰ってきて、壊してしまわないようにと毎週末気にかかるのが負担です。
→ 週末の持ち帰りを希望しない場合は、連絡帳等で週末の持ち帰りを希望しないことをお知らせください。タブレットは高価なものであるため、児童の判断ではなく、保護者の同意のもとで持ち帰るか持ち帰らないかを決めていきたいと考えています。また、週末の持ち帰りを希望しない場合でも、学校から出た課題があり、持ち帰りが必要な場合には、タブレットを持ち帰ることになります。
週末に限らず平日でも希望があれば持ち帰れるようにしてはどうかという意見もあります。タブレットでの宿題や課題と合わせて検討していきます。
- タブレットでの動画の宿題には困っています。家では動画を撮れる環境がないのと子どもも映るのがあまり好きではないとのこと。
→ 学校で使用しているタブレットを使用すれば動画を撮影することができます。写真や動画の使用の際は個人情報保護に配慮していますが、学習の一環で動画を撮影する場合には課題への取組にご協力いただくようお願いします。
- 学級閉鎖や自宅待機時にリモート授業ができる環境になると親としては、勉強の遅れの心配が減るので、検討頂きたいです。
→ 2~6年生はタブレットを持ち帰ることができるので、リモート授業も可能です。ただし、Wi-Fi環境がない家庭もあり、一律にリモート授業を行うのは難しい面もあります。状況に応じて個別に対応しているのが現状です。

【学校生活について】

- 子どもからの意見として、「もっと先生に褒めて欲しい!」と言っていました。
→ できるようになったこと、友達への優しい言動、気持ちのよいあいさつや係活動等への意欲的な取組など、子どもたちのよいところを見逃さず、積極的に褒めていきたいと考えています。子どもたちの自己肯定感を高められるよう、「褒めて伸ばす教育」を職員で共有していきます。
- 問題が起きたときに先生方にはお忙しい中話し合いをしていただき大変有難かったのですが、先入観をもたずに、問題の真偽を見極めながら話を聞いていただけたらと思います。
→ 問題が起きたときには、双方の話を聞いて事実関係を確認した上で指導しています。先入観を持たずに話を聞くように気を付けていきます。
- 夏休みの課題を減らしていただきたいです。
→ これまでも夏休みの課題を見直して減らしてきています。今後も夏休みの課題については内容と量を検討

していきます。

- 学校のクラブ活動は無くなるのでしょうか。また今はどのようなクラブが何年生からできますか。

→ クラブ活動はなくなりません。学校でのクラブ活動は年間で6回、4～6年生で活動しています。令和5年度のクラブは以下に示した11クラブです。令和6年度は職員や希望児童数により変更になる場合があります。

・サッカー ・野球 ・バスケットボール ・ドッジボール ・陸上 ・外遊び
・映画鑑賞 ・ボードゲーム ・手芸 ・イラスト ・タブレット

→ 部活動については、現在、陸上部、金管部、合唱部、郷土芸能部の4つの部活動があり、5年生以上で希望する児童が活動しています。

来年度の部活動については、次年度に向けて次のように検討しています。

・陸上部、郷土芸能部 … 練習開始時期と内容について検討しています。

・合唱部、金管部 … 部員の人数減少や練習時間の確保、楽器を使った演奏編成の小規模化、専門性のある指導者の不足等の面で、これまでと同じ方法での活動が困難なため、来年度以降の活動について、現所属児童と保護者の方に活動しない方向でご理解をいただいています。

- 給食当番時に豚汁をよそろうとしたら、「ほぼ残っておらず食べられなかった。」と本人が言っていました。完全に平等にするのは難しいと思いますが、給食費を払っている以上、食べられないようなことは、無くして欲しいです。

→ 大変申し訳ありませんでした。給食の際、担任等と一緒に配膳をしているので、まず、皆に同じ量を配膳できるように確認します。

【安全について】

- 下校時の児童に飛び出しされて困っています。信号無視して飛び出しされて、本当に危なかったです。

→ 改めて飛び出しの危険について各学級で指導していきます。また、信号無視をしないこと、信号が青でも周囲の安全確認をしてから横断することなど、交通安全についても、今一度、各学級で指導していきます。

- 下校時、体育館の駐車場でランドセルをおろした子どもたちが走り回っていて危ないです。保護者が近くで見ている形跡ありません。

→ 体育館駐車場で遊ぶのは危ないので禁止であることを全学年で指導しました。学校でも注意していきますので、ご家庭でも体育館で送迎をする際は、お子さんに危険なので駐車場で遊ぶことを確認していただくようお願いします。

- 1年生の子どもだけでの下校初日に下校時刻が3分早く、その数分で混乱がありました。先生たちにとって少しの時間の前後は当たり前と思うかもしれませんが、保護者にとっての当たり前は違います。少し早く出ることがあるならそういう事があると手紙に明記してくればよかったのと思います。

→ 下校時刻で混乱を招いてしまい申し訳ありませんでした。今後、混乱を招かないようにするために、下校時刻について次のようにしていきたいと考えています。

月の下校時刻一覧や学年だより等でお知らせする下校時刻については、「学校の門を出る最終時刻」としていきます。帰りの会終了予定時刻から下校時刻までの間で門を出ます。諸事情により下校時刻より門を出る時刻が遅くなる場合もあります。特に、新入生の年度ははじめの集団下校では、人数や方面の確認などに時間がかかるため、下校時刻よりも遅れることが予想されます。出来る限り下校時刻までに門を出るようにしますので、ご理解とご協力をお願いします。

○ マラソン記録会のコースにマンホールがあり転んだようなので、コースを変えてください。狭いし、頭を打つと危険です。

→ **次年度はマラソン記録会ではなく、マラソン大会に変更することを検討しています。そのため、コース変更も検討しています。その際も、コースについては走路の安全に十分配慮していきます。**

【学年だよりについて】

○ 学年だよりの紙媒体での配付を希望したいです。

【理由】

- ・予定や持ち物など重要なことが記載されており、紙媒体で出してもらったほうが分かりやすい。
- ・紙媒体の方が予定などを把握しやすい。見落としが少ない。
- ・目につくところがないと、持ち物などの用意が不便。
- ・ペーパーレスはよいと思うが、お便りを思い出の一つで保管していたので残念。
- ・リーバーだといつ届いたか分からないときがある。
- ・兄弟姉妹が多い家庭は、いちいちリーバーを開いてサイト接続しなくてはいけないのが大変。

→ **希望する方には、紙媒体（白黒印刷）でも配付します。担任に連絡帳等でお知らせください。**

また、リーバーには学年だより、学校だよりの他に、臨時休業や学級閉鎖など重要な情報を送信してお伝えすることがありますので、こまめに確認いただくよう、ご協力をお願いします。

○ 学年だよりなどの写真は学校の様子があるので楽しみにしていますが、白黒であったり小さ過ぎて見づらかったりするのが残念です。

→ **リーバーではカラーで学年だより、学校だよりを配付しています。写真の大きさについては、個人情報保護の観点から個人が特定されずに活動の様子が伝わるような大きさでの写真を掲載していますことをご了承ください。**

【リーバーについて】

○ リーバーがとてもいいです。配付物減、欠席時の学校からのメール配信などがありがたいです。

→ **ICT を活用しペーパーレス化や情報共有の効率化を図っています。給食の献立表など、紙媒体で届いた配付物についてはそのまま配付しています。**

○ リーバーでのシステム化が進むにつれて先生とのコミュニケーションの場が個人面談の時位になっていると思います。できないところがあってもそのまま進んでしまい、親がどこで学習がつかずいているかわからないときが増えた気がします。システム化が進むことで先生方は仕事がやりやすくなると思いますが、保護者にとっては日常が把握しづらいです。

→ **今年度も働き方改革を進めていますが、保護者の方々との連携や情報共有はとても大切なことだと考えています。家庭・地域・学校が一体となって子どもたちを育てていけるよう、必要なことに時間を掛け、その他のところを効率化していくように取り組んでいます。**

【電話対応について】

○ 学校から連絡があり、仕事終わりに折り返し電話をしても留守電となり、何の連絡かわからないまま翌日を迎えなければならないです。

→ **タ方の電話対応の時間が17時30分までとなっているため、折り返しの電話をいただいても受けることができず、大変申し訳ありません。17時30分を過ぎる場合は、電話の要件をリーバーメッセージでお伝えするようにします。また、その日のうちにどうしても電話での連絡が必要な場合は、17時30分を過ぎて**

からでも学校から電話を掛けさせていただきます。保護者の方からの17時30分以降の折り返しの電話は不要です。

【行事について】

- 初めて音楽集会を拝見しました。あれは何を目的としていたのでしょうか。簡単な楽器を使っての児童の伴奏があるのかなと思いましたが、そういったのはなく1曲だけですぐ終わってしまい少し物足りなく感じました。学年によってはまだ合唱は難しいとは思いますが、保育園でももっとやってきていたと思いました。

→ コロナ禍のため4年ぶりの音楽集会となりました。今年度は、久しぶりの音楽集会だったので、学級の友達と声を合わせることの楽しさや心地よさをねらいとして取り組んできました。また、10、11月の限られた週2時間の音楽科の授業時間の中で、他の学習と並行しながら、児童も教員も無理なく取り組める範囲で今年度は取り組みました。

- 年間行事予定にはなかった保護者参加の行事はできるだけ早め(3か月以上前)にはお知らせいただきたいです。

→ できるだけ早くお知らせできるよう努めます。

- 親子レクについてクラス替え後の学年などの隔年実施を希望します。
- 親子レクがあると体育館に停められません。送迎を祖父母にお願いしているので、学校から指定されている体育館に停められないととても困ります。親子レクを午前中にするなど、駐車場を確保して欲しいです。

→ 親子レクについては各学年部PTAが企画・運営してくださっています。次年度の学年部長にいただいたご意見をお伝えしておきます。

【その他】

- 名人の賞状が無くなってしまい子供が残念がっていました。
- 運動会は半日開催でよかったです。来年度も運動会は午前中のみでよいと思います。
- 卒業式での卒業生の服装を中学校の制服などに統一していただきたいです。
- 監視カメラ等の防犯設備を整えてほしいです。

→ いただいたご意見を今後の学校経営の参考にさせていただきます。

【励ましの声】

- いつも子どもの様子をよくみていただきご指導していただけて、ありがたいです。
- 担任の先生をはじめ沢山の先生方に守られていると常を感じております。朝早く夜遅くまで大変かと思いますが今後とも宜しくお願いいたします。
- 子ども一人一人の言葉に耳を傾け、対応していただき感謝しています。大規模校だからこそ、事務処理など学習指導的以外の業務も多いと思います。先生方の心身の健康のためにも、業務改善として今の時代に必要のないことや行事についても見直していただきたいです。子どもと向き合う先生方の心身の健康あってこそ教育活動だと考えます。説明があれば、保護者も納得して、業務改善として削減できることも多いと思います。子どもたちの育ちが多様化する時代に、学校も変わっていった当たり前だと思います。必要に応じて、思いきった改革をぜひお願いします。
- 日頃より、ご指導やご配慮ありがとうございます。保護者が学校生活において心配な事を話しやすい環境、聞いていただき相談できる環境に、感謝しています。ご対応ありがとうございます。
- いつも親子共々、問題があった場合はフォローして頂き感謝しています。

- クラス替えに不安もあったようですが、あっという間に友達もできて、毎日先生や友達と楽しく充実した日々を過ごしているようで私も安心しています。
 - いつも忙しい中、子どもたちを目配り、気配りしていただきありがとうございます。感謝しています。
 - いつも優しく丁寧なご指導をありがとうございます。毎日楽しく通学できています。学習も苦手な教科でもよく取り組んでいます。
 - いつもよくしていただき感謝しております。残り少ない小学校生活が楽しく過ごせるように家庭でも援助していきたいと思います。
 - 子どもの体調がよくないとき、連絡帳に記載すると様子を伺っていただき、気を配っていただき感謝しております。
- 温かい励ましの声をたくさんいただき、ありがとうございます。これからも、学校の教育目標「心身ともに健康で、共にみがき合い・共に伸びていく子どもの育成」を目指して教育活動にあたっていきます。引き続き、保護者の皆様には、ご理解・ご協力をお願いします。